

## ●「救急安心センターさっぽろ」の開設について

札幌市では、平成 25 年 10 月 1 日から「救急安心センターさっぽろ」を開設します。

近年、札幌市の救急出動件数は年々増加しており、超高齢社会の到来等を背景に、救急医療の需要はさらに高まっていくものと予想され、その対応が喫緊の課題となっています。

一方、札幌市における救急出動の半数を占める「軽症」者の中には、救急要請か病院受診かなどの判断に迷いながら、119 番通報している方も相当数いると考えられます。

そのような市民を適切な医療につなげるため、当センターでは、看護師である医療相談員が救急医療相談を受け付け、119 番への転送や医療機関の受診案内、応急処置の助言など、症状に応じた対応を行います。

これにより、市民が安心して適切な医療を受けることができ、結果的には救急医療の適正利用にもつながることが期待されます。

札幌市では、限りある救急医療資源を有効に活用することで、さっぽろ医療計画の基本理念である「市民が健康で安心して暮らせる社会の実現に向けた医療システムの確立」を図っていきます。

### 1 名称

道央医療圏救急医療システム「救急安心センターさっぽろ」

《ロゴマーク》

### 2 電話番号

#7119 (シャープ・なな・いち・いち・きゅう)

※ 一部 IP 電話等は 011-272-7119



### 3 開設日

平成 25 年 10 月 1 日 (火) 正午

※ 平成 26 年度以降、札幌医療圏、道央医療圏の参加希望自治体に、順次、サービス提供予定

### 4 事業概要



(1) 運営体制

① 対応時間

24 時間 365 日対応

② スタッフ

ア 受付員：相談振り分け、医療機関案内など

イ 医療相談員（看護師）：医療相談、緊急度判定

ウ オンコール医師：医療相談員に電話で助言

(2) 予想相談件数（東京都・大阪市を参考に試算）

① 年間：52,000～68,000 件

② 1 日平均

○平日：117～151 件（うち救急搬送 2～8 件）

○土日祝日：212～273 件（うち救急搬送 3～14 件）

5 参考（札幌市消防年鑑抜粋）

年	傷病程度別搬送人員 (人)					
	総数	死亡	重症	中等症	軽症	その他
平成 21 年	49,248 (100%)	775 (1.6%)	1,785 (3.6%)	17,693 (35.9%)	28,949 (58.8%)	46 (0.1%)
平成 22 年	51,926 (100%)	743 (1.4%)	1,756 (3.4%)	18,954 (36.5%)	30,434 (58.6%)	39 (0.1%)
平成 23 年	54,869 (100%)	831 (1.5%)	1,897 (3.5%)	20,173 (36.7%)	31,951 (58.2%)	53 (0.1%)
平成 24 年	57,466 (100%)	858 (1.5%)	1,933 (3.4%)	21,136 (36.8%)	33,515 (58.3%)	23 (0.0%)

※1 軽症とは、傷病の程度が入院加療を必要としないもの

※2 中等症とは、傷病の程度が重症または軽症以外のもの

※3 重症とは、傷病の程度が 3 週間以上の入院加療を必要とする以上のもの

※4 その他とは、接骨院へ搬送したものや、医療機関搬送後に受診しなかったもの

報道機関向け内覧会のお知らせ

センターの内覧会を実施します。

(1) 日 時 平成 25 年 9 月 18 日（水）14：00～15：00

(2) 場 所 札幌市中央区南 4 条西 10 丁目消防局庁舎 5 階「救急安心センターさっぽろ」  
※ 消防局 1 階受付で入庁手続後、直接 5 階にお集まりください。

(3) その他 9 月 26 日 14：00～15：00 の間、現地でのスタッフ訓練の様子を撮影用に公開します。事前に下記担当課(高田)までご連絡ください。

問い合わせ先

保健福祉局保健所医療政策課 伊東・高田

電話：622-5162